

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

2022年2月現在
ノーブルホームカップ運営事務局

当感染予防対策は、茨城県軟式野球連盟のガイドラインをもとに作成しております。大会の開催に際して、感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項として記載しております。尚、協力を得られない場合には、他の参加者の安全を確保する観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりする場合がございますので、ご了承下さい。参加者の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い致します。

【感染予防対策における注意事項】

- ・発熱、咳、倦怠感などの風症状および味覚嗅覚を感じないものの参加を認めない。また、14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と認定されたものも参加を認めない。
- ・過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ・会場及び球場への一般車両への乗り合い(同乗)は、茨城県の仲間の集まりの対策基準から、送風モードを外気導入にし、運転手を含め4人までとする。バスの乗り合いは、窓の開閉と車内エアコンを併用し、換気を行うこと。
- ・選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用すること。
- ・試合時の攻守交替決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用して行うこと。
- ・プレー中は必要以上に大きな声での会話や応援等は我慢すること。
- ・手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- ・人との距離を2メートル確保する。ベンチ内では一定間隔を保つように努力すること。
- ・練習および試合において、全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ・競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時には、全員

がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症予防に配慮すること。

・球審はマスクを着用することが望ましいが、軟式野球の競技環境および競技の特性を考慮し、選手ならびに球審のマスク着用の義務付けは行わない。

・肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索すること。

・観客及び応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するようにチームごとで応援者に注意喚起を行うこと。